2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月９日

上 場 会 社 名　　リンテック株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7966　　URL　https://www.lintec.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）服部　真
問合せ先責任者　（役職名）取締役常務執行役員管理本部長　（氏名）柴野　洋一　（TEL）03-5248-7713

半期報告書提出予定日　　2026年11月11日　　配当支払開始予定日　　2026年11月27日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	172,506	11.5	16,760	31.3	17,039	36.5	12,112	35.7
2026年３月期中間期	154,752	△2.4	12,767	△6.7	12,487	△12.5	8,928	△17.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　15,007百万円（ 562.5%）　2026年３月期中間期　2,265百万円（△89.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	188.89	188.83
2026年３月期中間期	135.48	135.43

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	355,950	239,779	67.1
2026年３月期	342,725	258,240	75.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　238,975百万円　　2026年３月期　257,439百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	55.00	―	55.00	110.00
2027年３月期	―	90.00			
2027年３月期(予想)			―	90.00	180.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	358,000	12.1	38,000	51.1	38,000	48.1	27,500	58.3	442.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　２社（社名）Madico Europe B.V.
LINTEC ADVANCED TECHNOLOGIES INDIA PRIVATE LIMITED　、除外　ー社（社名）

（注）詳細は、添付資料９ページ「（３）中間連結財務諸表に関する注記事項（当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更）」をご覧ください。

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	72,488,740株	2026年３月期	72,488,740株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	12,445,388株	2026年３月期	7,007,308株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	64,123,085株	2026年３月期中間期	65,900,089株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・2026年５月８日に公表いたしました通期連結業績予想は修正しております。詳細につきましては、【添付資料】４ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

・決算説明資料は、本日、当社ホームページ（https://www.lintec.co.jp）に掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

１．当中間期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4

２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更） …… 9
（セグメント情報） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

１．当中間期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社グループの当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高はＡＩ関連の需要増加により半導体・電子部品関連製品が引き続き好調に推移したことに加え、シール・ラベル用粘着製品の販売数量が堅調であったことや円安効果などにより172,506百万円（前年同期比11.5%増）となりました。利益面は中東情勢緊迫化によるナフサ由来の原材料や副資材などの調達コストの大幅な上昇や人件費および試験研究費などの固定費増加があったものの、販売数量の増加や製品構成および価格改定効果などもあり営業利益は16,760百万円（同31.3%増）、経常利益は17,039百万円（同36.5%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は12,112百万円（同35.7%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

（印刷材・産業工材関連）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	89,865	98,185	8,319	9.3
印刷情報材事業部門	71,324	78,451	7,126	10.0
産業工材事業部門	18,541	19,734	1,192	6.4
営業利益	1,673	2,808	1,134	67.8

当セグメントの売上高は国内で販売数量が堅調に推移したほか海外子会社での円安による押上げ効果もあり98,185百万円（前年同期比9.3%増）となりました。営業利益については原材料価格の大幅な上昇や固定費の増加、米国マックタックでの工程歩留まり悪化影響があったものの、販売数量の増加や価格改定効果などにより2,808百万円（同67.8%増）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

＜印刷情報材事業部門＞

シール・ラベル用粘着製品は、国内では食品関連や飲料キャンペーン用などが低調であったものの、医薬・物流用やアイキャッチ用などが堅調に推移したことにより粘着紙、粘着フィルムともに販売数量が増加しました。海外では米国で販売数量が減少したものの、中国やアセアン地域で堅調に推移したことや円安効果もあり増加しました。この結果、当事業部門の売上高は78,451百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

＜産業工材事業部門＞

国内では自動車用ウインドーフィルムが大幅に伸長したほか、建物用ウインドーフィルムおよびマーキングフィルムが堅調に推移しました。海外では米国で買収効果もありウインドーフィルムが大幅に伸長しましたが、アセアン地域において自動車用粘着製品が減少しました。この結果、当事業部門の売上高は19,734百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

（電子・光学関連）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	46,946	55,209	8,262	17.6
アドバンストマテリアルズ事業部門	42,675	51,787	9,112	21.4
オプティカル材事業部門	4,271	3,421	△849	△19.9
営業利益	10,456	13,090	2,634	25.2

当セグメントの売上高はディスプレイ用粘着製品は大幅に減少しましたが、ＡＩ関連の需要増加により半導体・電子部品関連製品が好調に推移したことなどから55,209百万円（前年同期比17.6%増）となりました。営業利益については原材料価格の大幅な上昇に加え、研究開発費や減価償却費などの固定費は増加しましたが、販売数量が増加したことなどにより13,090百万円（同25.2%増）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

＜アドバンストマテリアルズ事業部門＞

半導体関連粘着テープおよび関連装置や積層セラミックコンデンサ関連テープはＡＩデータセンター向けやスマートフォン用などの旺盛な需要増加により好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は51,787百万円（前年同期比21.4%増）となりました。

＜オプティカル材事業部門＞

光拡散フィルムは堅調であったものの、ＯＬＥＤディスプレイ用粘着テープやＯＣＡテープは大幅に減少しました。この結果、当事業部門の売上高は3,421百万円（前年同期比19.9%減）となりました。

（洋紙・加工材関連）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	17,940	19,112	1,172	6.5
洋紙事業部門	7,357	7,151	△205	△2.8
加工材事業部門	10,582	11,960	1,378	13.0
営業利益	592	834	241	40.7

当セグメントの売上高については、洋紙事業は販売数量の減少を価格改定効果でカバーするまでには至らず、加工材事業は販売数量が堅調に推移したこともあり19,112百万円（前年同期比6.5%増）となりました。営業利益については原材料価格の大幅な上昇などの影響があったものの、販売数量の増加や価格改定効果などにより834百万円（同40.7%増）となりました。

当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

＜洋紙事業部門＞

無塵紙や耐油紙は堅調に推移しましたが、主力の封筒用紙や工業用特殊紙が低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は7,151百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

＜加工材事業部門＞

合成皮革用工程紙は減少しましたが、電子材料用剥離フィルムや炭素繊維複合材料用工程紙は好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は11,960百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は355,950百万円となり、前連結会計年度末に比べて13,224百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- 「現金及び預金」の減少　△1,302百万円
- 「受取手形、売掛金及び契約資産」の増加　7,271百万円
- 「棚卸資産」の増加　8,820百万円
- 「流動資産その他」の減少　△1,653百万円
- 「有形固定資産」の増加　1,931百万円
- 「のれん」の減少　△2,241百万円

（負債）

当中間連結会計期間末の負債は116,170百万円となり、前連結会計年度末に比べて31,685百万円の増加となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- 「支払手形及び買掛金」の増加　8,537百万円
- 「短期借入金」の増加　12,950百万円
- 「未払法人税等」の増加　967百万円
- 「長期借入金」の増加　8,864百万円

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産は239,779百万円となり、前連結会計年度末に比べて18,460百万円の減少となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

- 「利益剰余金」の増加　8,511百万円
- 「自己株式」の減少　△29,935百万円
- 「為替換算調整勘定」の増加　3,004百万円

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想および配当予想につきましては、2026年５月８日に公表いたしました連結業績予想および配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年11月９日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正ならびに剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向および計画などに基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,271	58,969
受取手形、売掛金及び契約資産	69,485	76,757
棚卸資産	58,675	67,495
その他	7,962	6,309
貸倒引当金	△313	△154
流動資産合計	196,082	209,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,737	50,499
機械装置及び運搬具（純額）	41,778	41,917
土地	14,880	15,005
建設仮勘定	4,974	4,415
その他（純額）	7,128	7,593
有形固定資産合計	117,500	119,431
無形固定資産		
のれん	7,093	4,852
その他	2,940	2,867
無形固定資産合計	10,033	7,720
投資その他の資産		
その他	19,225	19,539
貸倒引当金	△116	△117
投資その他の資産合計	19,109	19,421
固定資産合計	146,643	146,573
資産合計	342,725	355,950

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,266	45,804
短期借入金	700	13,650
1年内返済予定の長期借入金	2,222	2,163
未払法人税等	3,803	4,771
賞与引当金	2,793	2,850
役員賞与引当金	92	47
その他	19,090	19,067
流動負債合計	65,968	88,355
固定負債		
長期借入金	1,902	10,767
リース債務	2,694	2,811
環境対策引当金	111	111
退職給付に係る負債	12,569	12,908
その他	1,238	1,217
固定負債合計	18,516	27,815
負債合計	84,485	116,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,355	23,355
資本剰余金	26,644	26,718
利益剰余金	180,375	188,886
自己株式	△16,817	△46,752
株主資本合計	213,558	192,208
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	466	559
為替換算調整勘定	35,922	38,926
退職給付に係る調整累計額	7,491	7,281
その他の包括利益累計額合計	43,880	46,767
新株予約権	42	37
非支配株主持分	759	767
純資産合計	258,240	239,779
負債純資産合計	342,725	355,950

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	154,752	172,506
売上原価	114,097	125,934
売上総利益	40,654	46,572
販売費及び一般管理費	27,886	29,811
営業利益	12,767	16,760
営業外収益		
受取利息	308	254
受取配当金	116	52
固定資産売却益	0	26
受取保険金	1	0
補助金収入	145	109
その他	111	133
営業外収益合計	684	578
営業外費用		
支払利息	171	183
固定資産売却損	－	1
固定資産除却損	122	42
為替差損	574	7
支払補償費	1	4
その他	95	59
営業外費用合計	964	299
経常利益	12,487	17,039
特別利益		
投資有価証券売却益	199	51
特別利益合計	199	51
税金等調整前中間純利益	12,686	17,091
法人税、住民税及び事業税	3,897	5,174
法人税等調整額	△143	△190
法人税等合計	3,754	4,983
中間純利益	8,932	12,107
非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失（△）	4	△5
親会社株主に帰属する中間純利益	8,928	12,112

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	8,932	12,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80	92
為替換算調整勘定	△6,596	3,017
退職給付に係る調整額	9	△209
その他の包括利益合計	△6,667	2,900
中間包括利益	2,265	15,007
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,291	14,999
非支配株主に係る中間包括利益	△26	7

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年８月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,464,400株の取得を行っております。この結果、当中間連結会計期間において、主として当該自己株式の取得により自己株式が29,935百万円増加し、当中間連結会計期間末における自己株式は46,752百万円となっております。

（当中間連結会計期間における連結範囲の重要な変更）

当中間連結会計期間において新規設立した以下の２社について、連結の範囲に含めております。

Madico Europe B.V.

LINTEC ADVANCED TECHNOLOGIES INDIA PRIVATE LIMITED

（セグメント情報）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	印刷材・産業工材関連	電子・光学関連	洋紙・加工材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	89,865	46,946	17,940	154,752	－	154,752
セグメント間の内部売上高又は振替高	35	29	7,396	7,461	△7,461	－
計	89,900	46,975	25,336	162,213	△7,461	154,752
セグメント利益	1,673	10,456	592	12,722	45	12,767

（注）１　セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。
　　２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	印刷材・産業工材関連	電子・光学関連	洋紙・加工材関連	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	98,185	55,209	19,112	172,506	－	172,506
セグメント間の内部売上高又は振替高	29	132	7,177	7,338	△7,338	－
計	98,214	55,341	26,289	179,845	△7,338	172,506
セグメント利益	2,808	13,090	834	16,732	27	16,760

（注）１　セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間取引消去の金額であります。
　　２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。